

なごや子ども応援委員会職員を目指す皆さんへ

なごや子ども応援委員会では、さまざまな悩みや心配を抱える子どもや親を総合的に支援するため、常勤の専門職を学校現場に配置しています。

子どもたちと普段から関わりながら、すべての子どもたちの健やかな発達を支援し、子どもたちが主体的に人生の針路を探ることができるよう応援しています。

【なごや子ども応援委員会のスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの働き方】

総合援助職（スクールカウンセラー）Aさん（事務局校勤務）

① こんな仕事をしています

ブロック内の学校で起きているケースについて SC から相談を受けたり、多職種で関わる必要がある場合は事務局校内で検討したりします。毎週 1 回のチーム会議では、各学校各職種から報告があり、支援方針について全員で協議します。

児童生徒や保護者のカウンセリングをはじめとする相談対応以外にも、不登校生徒の家庭訪問や、関係機関との情報交換会への参加などしています。相談対応の際に虐待が疑われるケースでは、多職種と連携したり、関係機関との連絡調整を行うこともあります。

また、未然防止プログラムの計画・実施に力を入れており、心の授業や PTA 家庭教育セミナーでの講話、WEBQU の分析・活用など、学校のニーズや現状に合わせて様々な活動を行っています。

② こんなことにやりがいを感じます

やはり毎日子どもたちの様子が見られるということは常勤職の良さだと思います。昨日は表情が良くなかったけれど、授業後話をしたら、今日は笑顔で登校できたな、など日々の関わりの中で子どもたちの変化や成長を感じることが喜びです。自分もパワーをもらっています。

また、応援委員会には多くのスタッフがいます。困難を感じた時は違う視点から意見をもらうことができます。応援委員会全体で子どもたちを「応援」している実感をもてることは、この仕事のやりがいです。

○ある一日のスケジュール

8:15 朝のあいさつ運動
8:30 支援中の生徒がいるクラスで授業観察
9:30 小中学校でプレイセラピー
教務主任と情報共有
11:00 不登校生徒の家庭訪問
12:15 昼休憩
昼放課 個別面接
13:30 心の授業案作成
14:30 校内巡回
15:00 校門にて下校のあいさつ
15:30 生徒と個別面接
16:30 先生と情報共有・検討
※時間外勤務をすることもあり

総合援助職（スクールソーシャルワーカー）Bさん（事務局校勤務）

① こんな仕事をしています

子どもたちを取り巻く環境（学校、家庭、地域他）や子ども自身が抱えている課題に対して、学校や関係機関と協働した相談支援を行っています。具体的に子どもや保護者との面談、家庭訪問のように直接的な相談対応や、学校を含む様々な機関との連携（ケース会議等）の調整、アセスメントに基づく支援方針の検討等の間接的な支援を行っています。また個別の相談支援だけではなく、学校・家庭・地域・社会で生活している子どもを孤立させない居場所を作る等、子どもが持っている力を発揮できる環境や子どもの権利が保障された社会の仕組みづくりを様々な機関と協力して行っています。

② こんなことにやりがいを感じます

純粹に子どもにとって必要なことが何かを考え、行動できそれを実行していけることが、この仕事の魅力だと感じています。また一人ではなくチームや学校、関係機関の方と協力して取り組めることはとても心強いです。子どもの人生に関わる責任を感じると同時に子どもの成長や変化を中長期的に観て、感じられることも常勤職員としての喜びであり総合援助職としてのやりがいだと思います。

○ある一日のスケジュール

8:15 朝のあいさつ運動
8:30 事務局校打ち合わせ
9:00 A 中学校訪問（校内会議の参加。生徒情報共有）
10:30 B 小学校（保護者面談）
12:15 昼休憩
13:00 児童相談所訪問（ケース対応について関係諸機関と打ち合わせ）
14:00 関係機関会議（区役所にて支援者会議）
16:00 C 小学校児童家庭訪問（担任訪問に同行）
17:00 C 小学校で先生たちと情報共有・支援方針の検討
※時間外勤務をすることもあり

※事務局校とは…市内を 17 ブロック（中学校ブロック 16、高校・特支ブロック 1）を構成とし、各ブロックに活動の拠点となる事務局を設置しています。